

認知症初期集中支援チームについて

【目的】

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、認知症の人やその家族に初期に訪問等で直接関わり、早期診断、早期対応に向けた支援体制を構築する。
(「初期」とは認知症初期」と「対応初期」の意味を持ちます)

【対象】

40歳以上で、在宅で生活し、認知症(疑いも)の人で、適切な医療や介護サービスに結びついていない人
医療や介護サービスを受けているが、認知症の行動・心理症状が顕著なため対応が困難な人

【体制】

- ・直営とし、市地域包括ケア課が事務を担当
- ・6か月間をめぐりに集中的に関わり、医療や介護サービスにつなぐ
- ・チーム員による身体的ケア、環境整備等の直接支援を行うことが可能
- ・力を尽くしても受診できないような場合はチーム支援が有効

【チーム員】

認知症サポート医

いしかり脳神経外科クリニック 橋本透先生
石狩ファミリアホスピタル 河合剛多先生

医療職と介護・福祉職のペア

地域包括ケア課、地域包括支援センター
認知症地域支援推進員、精神科病院看護職・福祉職

各場面で必要に応じ専門職に助言、本人への診察、訪問、主治医との連絡

支援対象者に合った機関・職種・人員を検討し、2名以上でチーム員を構成

【認知症初期集中支援チーム検討委員会】

- ・年1回開催、石狩市介護保険事業運営推進協議会をあてる
- ・協議事項：チーム運営状況の報告、改善策の検討など

令和4年度 認知症初期集中支援チーム実績

	件数・人数	相談受理機関				
		南	花川中央	北	厚田	浜益
認知症の相談延件数	595件	205件	214件	112件	40件	24件
チーム支援対象実人数	80人	33人	26人	21人	0人	0人
チーム支援検討実人数	5人	2人	1人	3人	0人	0人
チーム支援実人数	4人	2人	1人	1人	0人	0人
前年度からの継続実人数	なし	なし	なし	なし	なし	なし

【評価・課題】

- ・アセスメントツールを活用することで、本人の認知機能や生活機能、心理・行動症状、介護者の負担等を総合的に評価でき、支援計画に反映することができた。
- ・認知症サポート医により、受診や入院の勧奨、介護サービス利用勧奨を行うことで支援の継続に効果がある。
- ・認知症に関する相談のほとんどは包括が対応して医療や介護、あるいはインフォーマルサービスにつなぐなど支援を行っており、今後も引き続きチームとしての支援も活用しながら進めていく。